

あなたのボランティア活動を応援する情報誌だよ！



R4. 2. 1
123号

社会福祉法人 川口市社会福祉協議会
かわぐちボランティアセンター
編集：ぼらんていあ川口編集員
〒332-0015
川口市川口1丁目1番1号キューポ・ラ本館棟M4階
かわぐち市民パートナーズステーション内
TEL：048-227-7640 FAX：048-227-7641
http://www.kwgc-borasen.jp/

ぼらんていあ川口



↑ 麺類、米飯、スープ類などの
インスタント食品

フードドライブにご協力いただき
ありがとうございました！！



↑ 歯ブラシ、石鹸などの日用品



こんなに
たくさん！

10月、11月に行ったフードドライブですが、たくさんのかたに食料品などを寄附していただきました。
NCホーム株式会社代表中馬様はじめ、ご協力いただいた皆様ありがとうございました！！



↑ ペットボトルや缶などの飲料



令和4年度ボランティア活動保険について

かわぐちボランティアセンターでは、万が一に備えてボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償するボランティア活動保険へのご加入をお勧めしています。

現在ご加入のかたは令和4年3月31日(木)で補償期間が終了いたします。4月1日(金)からも引き続き安心して活動できるようお早めにご加入ください。

ボランティア活動保険の種類

従来のプランに「特定感染症重点プラン」を加えて、3つのプランとなりました。

- ①基本プラン 350円
- ②天災・地震補償プラン 500円
- ★③特定感染症重点プラン 550円

※新規加入の場合、従来のプランでは補償開始日から10日以内に発病した特定感染者については補償の対象にはなりませんでしたが、特定感染症重点プランでは補償開始日から補償の対象となります。

3月4日(金)から令和4年度分の保険を受付します！

※振込での加入の場合は令和4年1月から振込手数料が110円かかります。



川口社協マスコット「社助」

▶ 詳細については、ふくしの保険のホームページなどをご確認ください。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険



清掃中～君も“川ガキ”になろう！～

昨年11月下旬、晴天に恵まれた荒川河川敷で、川口市内に在住・在学の中高生を対象とした清掃ボランティア活動「清掃中～君も“川ガキ”になろう！～」が開催されました。当日は中高生9名が参加、2班に分かれて河川敷のゴミ拾いを行い、川の自然環境について学びました。活動の様子を紹介します。

★水辺のクリーンアップ／調べるゴミ拾い

ゴミ拾いはアシやガマが繁茂する水際での大変な作業でした。トンゴで拾ったゴミは分別してゴミ袋へ、記録係が種類別の数を記録、単に拾うだけでなく“調べるゴミ拾い”です。干潮時の水辺には漂流ゴミが多く、収集した量は大小のゴミ袋をあわせて19袋もありました。また、種類別で一番多かったのはペットボトル、次いで食品の発泡スチロール容器でした。



↑干潮時の水辺でゴミ拾い
←拾ったゴミの種類を記録

<活動プログラム>

- 12:00 開会・あいさつ
参加者紹介、作業内容・注意事項の説明
- 12:10 水辺のクリーンアップ／ゴミ拾い
- 13:00 環境学習 水辺の水質検査（採水）
－休憩－
- 13:30 環境学習 水辺の自然学習
- 14:00 環境学習 水辺の水質検査（透明度測定）
- 14:20 ふりかえり
- 14:30 終了・解散

【主催】川口市社会福祉協議会
かわぐちボランティアセンター

※当日の各活動は、荒川夢クラブのかたがたの指導により進められました。

☆荒川クリーンエイドの活動について
(荒川夢クラブ/林美恵子さんより)
「荒川クリーンエイド」は荒川の自然豊かできいな環境を取り戻すため、1994年（荒川放水路通水70周年）にスタートしました。荒川夢クラブなどの民間団体や沿川市町村が連携して活動を行っています。今回は、中高生の活動として社会福祉協議会が企画し、事前の準備や当日の会場案内などは、市や関係機関、ボランティアのかたがたに協力していただき実施することができました。

★環境学習 水辺の水質検査

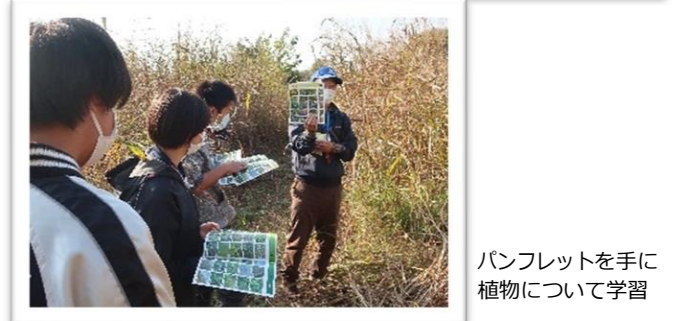
荒川本川とフナ池に採水器を投げ入れ、採水した水の透明度を測定しました。参加者全員が順番に透視度計を覗いて測定することで、興味深い体験になりました。さらに、水道水を加えた3種の水を使ってCOD（化学的酸素要求量）の検査についても学びました。



川の水を採水する様子
透明度の測定→

★環境学習 水辺の自然学習

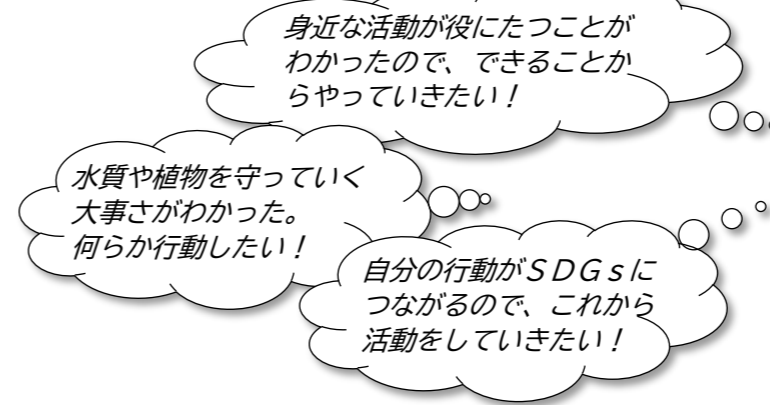
自然保護区内の水辺の道を歩きながら、専門家の解説により動植物の生育状況や環境の変化などについて学びました。外来種が増えていますが、日本在来種がアメリカ国内では外来種であり猛威をふるっている状況があるなど、興味深いお話もありました。



パンフレットを手に植物について学習

★ふりかえり

活動後のふりかえりでは、環境保全活動について、中高生の前向きな感想を聞くことができました。



ゴミ拾いの成果を前に全員集合

ボ ラ ン テ ィ ア

122号に続き、ボランティアセンターに登録のある団体の活動事例を紹介します。今回は5分類（環境、国際、福祉教育、学習支援、その他）です。興味のある活動についてはお気軽にお問い合わせください。

環境ボランティア

自然保護や美化活動など地域の環境づくりのための活動

- (例)
- ・市内の自然を守り・調べる自然体験活動
 - ・生きものの保全・保護や環境教育の活動
 - ・学校内ビオトープの管理や生きものの観察

国際ボランティア

在住外国人の方々との交流や国際社会への協力に向けた活動

- (例)
- ・外国人や帰国子女のための日本語教室
 - ・外国人児童の学習支援
 - ・外国人との交流や生活支援、情報提供
 - ・東南アジアの子どもたちの生活や教育支援



福祉教育ボランティア

すべての人々が多様性を認め合い、ともに生きる心を育んでもらうための活動

- (例)
- ・サウンドテーブルテニスの体験を通じた、市内小中学校における福祉教育
 - ・ボッチャの体験を通じた地域の交流



学習支援ボランティア

子どもたちの学習や体験活動を支援する活動

- (例)
- ・子ども向けの科学あそびの会の開催
 - ・思春期・青少年サポートを目的に、農作業や体験学習、手仕事などを通じた交流支援



その他の活動

- (例)
- ・映像制作やパソコンなどの市民向けの講座開催
 - ・動物保護の啓発や広報活動、里親探し
 - ・ベーゴマ道場開催によるベーゴマの普及 など



ボランティア広場



災害ボランティア養成講座 受講者募集！

- 日時 令和4年2月19日(土) 9:30~12:30
- 内容 災害時に円滑なボランティア活動を行うための災害ボランティア登録者を養成します
- 場所 やすらぎ会館(川口市南鳩ヶ谷6-8-16)
- 対象 市内在住・在勤で18歳以上のかた
- 定員 15名(先着順) 1月5日(水)より受付中
- 申込 かわぐちボランティアセンター 048-227-7640



※新型コロナウイルスの状況により中止または延期となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



短歌

行くことも訪いく人もなき日々を趣味のひとつに思い紛らす
 歳をとると交際範囲も限られて、行き来が少なくなる。作者のように心ならずもひとりで過ごす時間も自然にできてくるのである。

香りよき湖畔のかりん刻みおり小春日の陽の差し込む厨
 湖畔にくるたびにかりんを料理する習慣があつて、今年も手に取っている作者。小春日の中で香りをたのしんでいるのである。

あちこちの秋の便りに耳騒ぐまずは近場で捜しにゆかんか
 コロナ禍でどこにもいけなかった後なら尚のこと、耳に騒がしく秋の旅が届く。さあ、どこに行こうかと心が躍るのである。

(選者 短歌・ほおずきの会 金子 富美子)

笹田 光江

勝田 和子

岩崎 喜美子

ボランティア募集中

社会福祉法人啓和会 ベルホーム

- 内容 デイサービス利用者とのコミュニケーション
ふれあい農園での農作業等
- 活動時間 9:00~17:00(日程等調整OK)
- 場所 ベルホーム 川口市辻958
- 対象 中学生以上
- 連絡先 048-283-3061(担当:菅野)

★随時受付中★

編集後記

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」とは、あっという間に一月は行ってしまふ、二月は逃げてしまふ、三月は去ってしまふ、ということのたとえです。この時間が過ぎるスピードよりも速いスピードで広がっているのが新型コロナです。空気感染している可能性があるため、世界中に広がっています。私たちにはうがい・手洗い・マスクの着用の習慣が求められています。身近に迫った厄災に対して、節分には「鬼は外」と去ってもらいましょう。

(ぼらんていあ川口編集員Y.D)